

# 大阪ヒト元氣録

生まれも育ちも大阪市旭区。寝屋川市の高専を卒業した後、さまさまな職種を経験し、二〇〇三年には旭区大宮「丁自」で「しおかわ鍼灸(しんきゅう) 整骨院」を開業した。外反母趾(ぼし)などを得意とし、地域に愛される鍼灸整骨院になっている。

## ■直接、接したい

「実は中退なんです」と話す塩川徹院長(36)は、寝屋川高専の在学中にバイク事故に遭い、七カ月の入院と四回の手術を余儀なくされた。天井ばかりを眺める日々で「退院したらあおしやう、

を体験後、妻の由美さん(35)と夫婦で車一台の出張エステを起業した。

「やりたいことは、後回しにしているだけで自分の気持ち一つでいつでもできることばかりだ」ということに気付かされた。高専の卒業式のわずか一週間前に思い切って中学の専門学校に入学。昼は学校、早朝と夜はバイトをする生活を六年間送った。突然学生に戻った。

## しおかわ鍼灸整骨院長

しおかわ とおる  
塩川 徹さん

# 地域一番店を目指す



「いつまでも患者さんの目標で治療に当たりたい」と話す塩川さん

たので収入は激減し、妻には大変負担をかけた。しかし、六年間は短く感じるほど充実した日々でした。塩川さんは振

今年で開業五年。整骨院を「どんなにデジタル

識と技術を駆使して「自分が治す」という思いが強く、成果が上らないこともあった。「今思えば痛みの箇所だけしか見えず、利用者さん自身や精神状態が見えていなかった。思い上がりもいろいろです」と塩川さん

現在スタッフ八人を抱えている。川さんの整骨院には「わさ」を聞きつけた患者が途切れることなく訪れる。

## 自然治癒力を出すお手伝い

○..若いころはバイクでやんちゃなことをしていた普通の高校生。それが退屈な入院生活をきっかけに「考える時間」を身えられ、「天職」に巡り合えた。それにしても、塩川さんの「やりたいことを仕事にした」行動力には驚かされる。整骨院におじやますると、若いスタッフが児童分として募っている様子が随所にうかがえる。しかも明るい。「病は氣から」というが、患者さんの暗い気持ちを吹き飛ばすような彼らの元氣なあいさつを聞いているだけで、何だか元氣になってきた。

(上部武宏)